

教科名	英語	週時間数	4	学年	2年
使用教科書 副教材等	・教科書 NEW HORIZON English Course 2(東京書籍) ・副教材 ジョイフルワーク(新学社) English Notebook Benjamin(正進社) 積み上げ(明治図書)				

教科のねらい	・英語でコミュニケーションを取る喜びを知り、「学ぶ意欲」を育む。 ・相手を理解し、相手に自分の思いを伝えるため、場面や状況にふさわしい英語の表現力を身に付けることを目指し、学習を進める。		
授業の進め方	・授業は教科書だけでなく、コミュニケーションの力を身に付けるため、ペアワークやグループワーク、ALT を交えたアクティビティを行います。 ・ゲームなどを取り入れ、楽しく学習できるよう促します。 ・ワークシートやワークブックなどで基礎力をつけます。 ・新しく習った表現を使って、自分のことを表現する力を養います。ペアワークやグループワークで、簡単な会話ができるまでを目指します。 ・正確な発音やイントネーションの力を身に付けるため、クロムブックの活用を含む単語や英文の音読練習に力を入れます。 ・学期毎に ALT によるインタビューテストを予定しています。		
定期考査	出題方針	・授業中に行なった内容を中心に観点別に出題します。 ・「思考・判断・表現の能力」では、基本文型を用いた文を中心に書く問題を、また授業で学習した文型を用いた長文に関する問題も出題します。 ・「知識・技能」では、文法的な内容、題材に関する問題を出題します。	
	範囲 (予定)	1学期中間	Unit0 Unit1 Scene1 Real Life English Listening Grammar for Communication1
		1学期期末	Unit2 Scene2 Real Life English Speaking Grammar for Communication2 Unit3
		2学期中間	Scene3 Real Life English Listening Learning Technology in English Grammar for Communication3 Stage Activity1 Let's Read1 Unit4 Scene4 Real Life English Writing Grammar for Communication4
		2学期期末	Unit5 Scene5 Real Life English Listening Learning Social Studies in English Unit6
		学年末	Scene6 Real Life English Speaking Grammar for Communication5 Stage Activity2 Let's Read2 Unit7
	主体的に学習に取り組む態度	授業態度・提出物・課題への取り組み・ペアワーク グループワーク・自主学習の成果・スピーキングテスト 単語テストなど	
	思考力・判断力・表現力	定期テスト・宿題テスト・スピーキングテスト パフォーマンステストなど	
知識・技能	定期テスト・宿題テスト・単語テスト・スピーキングテストなど		
学習方法 (先生からの アドバイス等)	・自主的・積極的な学習姿勢が大切です。具体的には、日ごろのノートづくり(予習や自主学習)やワーク学習、授業の復習(宿題を含む)、提出物の徹底などをしっかりと実践しましょう。 ・英語は声に出して発音練習をすることはとても大切です。特に、予習で新しい単語を勉強するときには、QR コードを利用して、正しい発音を聞き、発音をまねてください。 ・楽しく勉強ができるよう、授業中のアクティビティに積極的に参加してください。		

学期	月	単元	学習内容	学習のポイント
1	4	Unit 0 Unit 1 Scene1 Real Life English Listening Grammar for Communication 1	・動詞の過去形 ・be going to ・助動詞will ・SVOO ・SVOC (C=名詞) ・We' re sorry for ... ・5つの文構造	・これまでに学んだことを用いて、自分が経験したことを話すことができる。 ・旅行の予定を説明したり、海外で経験できることなどについて伝えたりすることができる。 ・機内放送を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。 ・5つの文構造の復習。
	5	Unit 2 Scene2 Real Life English Speaking Grammar for Communication 2	・接続詞when, if, because, that ・May I ...? Could you ...? ・接続詞	・好きな食べ物について、理由や考えと共に紹介することができる。 ・場面や相手に応じて、ていねいに許可を求めたり、依頼したりすることができる。 ・接続詞を用いた文の復習。
	7	Unit 3 Scene3 Real Life English Listening Learning Technology in English Grammar for Communication 3 Stage Activity 1 Let' s Read 1	・不定詞 (目的・原因を表す副詞的用法) (形容詞的・名詞的用法) (It is ... + to) ・Thank you for... —My pleasure. ・不定詞	・将来像や夢などについて考え、取り組んでいきたいことについて説明することができる。 ・インタビューを聞き、質問の内容や答えを聞き取ることができる。 ・不定詞を用いた文の復習。 ・自分のいちばん好きな日本食について、その特徴や好きな理由を発表することができる。 ・説明文を読み、時計についての歴史を読み取ったり、説明したりすることができる。
2	9	Unit 4 Scene4 Real Life English Writing Grammar for Communication 4	・have to, do not have to ・助動詞 must, must not ・動名詞(目的語・主語) ・look forward to ...ing ・助動詞	・海外との生活習慣や文化のちがいを知り、取るべき行動についての考えを伝えることができる。 ・お世話になった人に、手紙で感謝の気持ちを伝えることができる。 ・助動詞を用いた文の復習。
	10	Unit 5 Scene5 Real Life English Listening Learning social studies in English	・疑問詞+to ・主語+動詞+(人)+疑問詞+to ・主語+be 動詞+形容詞+that ・Why don' t you ...?	・だれもが暮らしやすい社会について考え、その方法などについて伝えることができる。 ・展示・販売会で流れるアナウンスやスタッフの案内を聞き、イベントなどの情報を聞き取ることができる。
	12	Unit 6 Scene6 Real Life English Speaking Grammar for Communication 5 Stage Activity 2 Let' s Read 2	・比較表現 (...er, the ... est) (more ..., the most ...) (better, the best) (as ... as ~) ・Could you tell me how to get to ...? — Sure. Take ・比較表現	・身近なトピックについて調査を行い、データを比べて発表することができる。 ・状況や相手の要望に応じて、乗り物での行き方を伝えることができる。 ・比較表現を用いた文の復習。 ・自分の学校や学校生活について、具体例をまじえながら説明することができる。 ・物語を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちをこめて音読したりすることができる。
3	1	Unit 7 Scene7 Real Life English Speaking Grammar for Communication 6 Stage Activity 3 Let' s Read 3	・受け身(平叙文)(疑問文)(by ... つき)(助動詞つき) ・May I help you? —Yes, please. I' m looking for ... ・受け身	・世界遺産について知り、その特徴や価値を説明することができる。 ・自分の好みや要望を伝えながら買い物をするすることができる。 ・受け身の文の復習。 ・自分の立場を明確にして、意見を述べることができる。
	2			・人物の伝記を読んで、時系列を整理しながら内容を理解することができる。